

六甲の山々を歩いて、砂防を知る！

～現場見学会「六甲砂防ウォーク」～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

六甲山地周辺の地域にお住まいの方々に、六甲山地を巡っていただき、身近で行われている砂防事業についての理解を深めていただくために、六甲砂防ウォークを開催しました。

概要

日時：平成26年11月30日（日）

8：00～14：00

コース：【Aコース】神戸電鉄谷上駅→丸山えん堤

→山田道→神戸市立森林植物園(約3km)

【Bコース】JR新神戸駅→二十涉えん堤

→神戸市立森林植物園(約5km)

参加人数：84名

主催：六甲砂防事務所



○六甲山地を巡りながら砂防を知る



当初開催予定だった11月29日(土)は、残念ながら天候不順で延期となりましたが、翌30日(日)は爽やかな秋晴れとなり、谷上駅から丸山えん堤を経て森林植物園へ向かうAコースと、新神戸から二十涉えん堤を経て森林植物園へ向かうBコースの2コースで「六甲砂防ウォーク」を開催しました。

コースの途中にはそれぞれ4箇所の説明ポイントを設置して、六甲砂防事務所職員と「NPO法人兵庫県砂防ボランティア協会」の会員により砂防事業に関する説明を行いました。また、六甲山地の自然に詳しい「六甲山自然案内人の会」の方々に参加者と一緒に歩いていただき、六甲山の自然に関する説明を行っていただきました。

Aコース説明ポイント①

自然に配慮して、より安全になった丸山えん堤



丸山えん堤の説明ポイントでは、今年2月に補強が完了した丸山えん堤を目の前にして、工事の概要を説明しました。

この補強工事は、より安全な砂防えん堤とするために行ったもので、砂防えん堤の厚みを増やしたり、川岸を守るための護岸を造ったりしました。また、工事現場のそばを安全に歩いていただける工夫や、索道(ケーブルクレーン)を使って自然への負荷を抑えるために工夫して運搬などを行ったことを説明しました。参加者からは「砂防えん堤の補強をしっかりと行って、安心です。」などの感想がありました。

Aコース説明ポイント②

六甲山地を襲った台風11号



今年8月の台風11号は、六甲山地にも大きな爪痕を残しました。台風11号による大雨で風景が一変した場所に説明ポイントを設置して、その影響の大きさをご覧いただきながら、六甲山地の北側で起こった山腹崩壊と、土砂をくい止めた砂防えん堤について説明しました。参加者からは「災害の恐ろしさと砂防事業の大切さを知りました。」といった感想がありました。

Aコース説明ポイント③

過去の災害を振り返る



昭和13年に起こった阪神大水害における被害状況の写真パネルもご覧いただきました。参加者は聞き慣れた地名（三宮、住吉など）の被害状況のパネルを見て、「阪神大水害の被害の大きさに驚きました。」といった感想がありました。

Bコース説明ポイント①

地質が脆く土砂災害の起こりやすい六甲山地



布引貯水池のすぐ横には、布引断層を見られる場所があります。このような断層によって花こう岩が割れ、さらに風化により脆くなり、大雨、長雨などで土砂災害が起こりやすくなっていることを説明しました。参加者からは「六甲山地の花こう岩断層が脆いことがよくわかりました。」といった感想が聞かれると共に、説明ポイントのすぐ横の断層を興味深く見られていました。

Bコース説明ポイント②

六甲山地における土砂災害



昭和42年に土砂災害によって大きな被害を受けた市ヶ原地域で、六甲山地で起こった過去の土砂災害について説明しました。また、今年8月の台風11号による六甲山地の山腹崩壊のパネル展示も行い、参加者は身近な六甲山地で多くの被害があったことに驚かされていました。

Bコース説明ポイント③

索道(ケーブルクレーン)を使った二十涉えん堤の補強工事



Bコースを歩き、六甲山地の脆い地質や過去の災害について学んでこられた参加者のみなさんに、より安全な砂防えん堤とするために今年3月に補強改良工事が完成した二十涉えん堤の、その機能と工事の方法などについて説明しました。参加者は索道(ケーブルクレーン)を使って資材を運び、工事が行われたことに驚かされていました。

A/Bコース説明ポイント④

六甲山地のグリーンベルト整備事業



森林植物園内では、コナラやアベマキ等が見える地点に説明ポイントを設置して、災害に強く自然豊かな森を目指す「六甲山系グリーンベルト整備事業」の取り組みについて説明しました。

【ゴール地点】 森林植物園 (さくら園)



ゴール地点の森林植物園(さくら園)では、各コースを歩いて見てきた砂防えん堤の役割と効果を、模型による土石流実験で改めて知っていただくと共に、六甲山地を形成する花こう岩を実際に手にとっていただき、その脆さを実感していただきました。また、六甲山地で行われている砂防事業についてのパネルを展示して、土砂災害から下流の市街地を守るための取り組みや、五毛婦人会の指導を受けて木の実などを使ったクラフト作りに挑戦される方もおられ、自然の脅威とともに恵みにも触れていただきました。

イベント後のアンケートより

参加者のみなさんにはアンケートにご協力いただき、「六甲山地は急斜面なので、砂防えん堤が必要なことが分かりました。」「これまで知らなかった砂防事業のこともあり、今回のウォークでご説明いただき勉強になりました。」などの感想をいただきました。

今後も砂防事業にご理解いただけるよう、活動していきます。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL : 078-851-0535

